



対馬市長 調査反対決定！

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 No.52 2023年10月号

文献調査の拒否を明言

核のゴミ最終処分場の文献調査を受け入れるかどうか注目されてきた長崎県対馬市の比田勝尚喜市長が9月27日、受け入れないことを明らかにしました。その理由を比田勝市長は5つあげました。

①市民の合意形成が不十分

市民の分断が起こっている。市民の合意形成が十分でないと判断した。

②風評被害の懸念

観光・水産業への風評被害が発生すると判断した。

③「文献調査だけ」との考えに至らず

文献調査を受け入れて（20億円だけもらって）、次の概要調査に進まないという考えには至らなかった。

④市民の不安を払拭できず

安全性や事故が発生した時の対応、避難計画など、将来の対馬を案じる市民の不安を払拭できなかった。



市議会で文献調査を受け入れないと表明する比田勝尚喜市長＝27日、長崎県対馬市

⑤想定外の要因による危険性を排除できず

地震など想定外の要因による放射能流出の想定を排除できず、将来的に市民に影響、危険性がある最終処分施設の調査地として手を挙げる判断に至らなかった。

比田勝市長は「私個人の問題ではなく、対馬市で生活する市民の方たち、そして、対馬にこれから育つ子どもたちの将来を考えた」とおっしゃっています。私たち寿都町民の不安を代弁してくださっているかのようです。

寿都町議会議員選挙がまぢかに迫ってきました。いま一度、私たちの町のこと、将来の子どもたちのことを考えてみませんか。

対馬市長 核ごみ調査拒否

地層処分の安全性懸念



「市民、そして対馬市の将来に向けた安心、安全な事業であるかを熟慮した」。比田勝市長は会見でこう強調した。長崎が被爆県であることや、賛否が割れる中で調査を受け入れれば市民の分断を深める恐れがあることなどを考慮したという。また、安全性を確かめるため、地層処分の防災計画について経済産業省資源エネルギー庁に質問した際、現段階では具体的な計画は未策定とする内容の回答を受けたことを説明。「何らかの対策を示していたければ市民の理解も深まったのではないかと複雑な心境になりました。市長は会見で、来年3月

推進派

あなたの想いを...

この一票に...

選挙に行こう！

—寿都人プロジェクト—



子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com

HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>

FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>

北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374

ゆうちょ銀行 記号:19070 番号:44246811



2023年10月号 (No.52)